

# 林 茂

医療法人相生会 にしくまもと病院 病院長

すそ野が  
広ければ  
山は高くなる

はやし・しげる  
1949年3月1日生まれ。熊本県阿蘇郡白水村出身。73年、熊本大学医学部卒業後、神戸大学医学部附属病院麻酔科で研修。熊本大学医学部附属病院整形外科、帝京大学医学部附属病院などの勤務を経て、91年に副院長として入職。92年から現職。専門は整形外科、関節鏡手術。



→医療を核とした「熊本ホスピタム構想」の実現にまい進する林茂院長



↑海外の講演先でのスナップ(右から2人目が陳永振先生、左端が林茂院長)

撮影＝緒方 司

## 関

節鏡手術の第一人者・陳永振先生を知ったのは私が医師となつて10年を経た頃でした。先生のセミナーに参加して、鮮烈な印象を受けた私はすぐに弟子入り志願。当時、先生がおられた帝京大学医学部附属病院で約3年間、薫陶を受けました。すでに世界的に著名だった先生は海外での仕事も多く、台湾、シンガポール、タイや米国などに随行する機会があり、また留学生も多く、大変刺激的で充実した日々を送ることができました。

熊本に帰郷して勤めた当院(当時は西熊本病院)で、院長を任せられることに。しかし周囲からは「いつ潰れてもおかしくない」と囁かれる始末でした。そのような状況のなか転機を迎えたのが、健康情報誌で陳先生が、「関節鏡手術が受けられる病院・医師」として当院と私を推薦してくださったことです。県外から患者が訪れるようになると、地元の見方も変わっていきました。その後も決して平坦ではありませんでしたが、座右の銘にしたのが「すそ野が広くなれば、山は高くなる」という陳先生の言葉。「いろいろな経験や体験をしなさい」という意味が込められていますが、何度も勇気づけられました。

今夏、念願だった新病棟が完成します。これは私がかねてから提唱している「熊本ホスピタム構想」の一環でもあります。ホスピタムは「ホスピタル」と「タウン」を併せた言葉で、病院やクリニック等の医療を核として、その周辺に医療・介護の施設や住宅を集めた、住む人にやさしい町のことです。その実現に向けて、今後も走り続けていきます。